

2019
1-3
月期

京都企業の
BSI値
Business Survey Index

国内景気BSI値は大幅下降し、8四半期ぶりのマイナス
 先行きは軟調に推移
 自社業況BSI値も大幅下降。消費増税の影響を不安視する声も



- 《国内景気》国内景気 BSI 値は大幅下降し、8四半期ぶりのマイナス
- 《自社業況》自社業況 BSI 値は大幅下降。中国景気の減速が影響か
- 《国内景気》先行きは軟調に推移。消費増税の影響を不安視する声も
- 《自社業況》受注・売上不振、人手不足、原材料価格の上昇等により、先行きに慎重な見方



- ・今期、大企業、中小企業とも下降
- ・今後、大企業は横ばいで推移し、その後、上昇する見込み
- 一方、中小企業の下降幅は縮小するものの、その後、引き続き下降幅を拡大する見込み

《国内景気 BSI 値》 ▲12.6

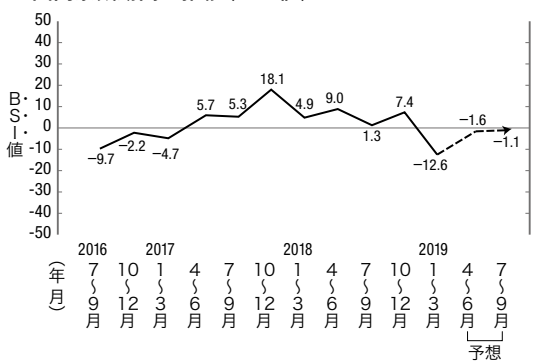
概要

《自社業況 BSI 値》 ▲11.5

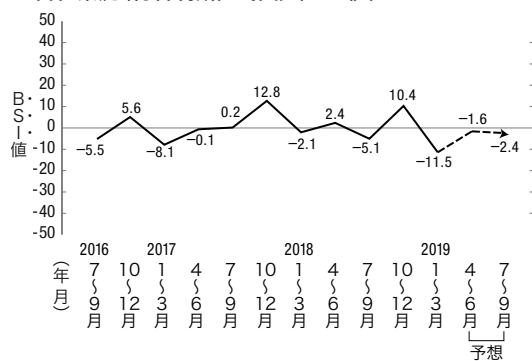
今期の国内景気 BSI 値は▲12.6(前期実績7.4)と大幅に落ち込み、前回予想値(▲1.9)を大きく下回る結果となった。年末の需要期の反動等から、ほぼ全ての業種で BSI 値は下降し、国内景気 BSI 値は8四半期ぶりにマイナスを記録した。2019年4～6月期は▲1.6と下降幅は縮小する見込みとなっている。春の観光シーズンを迎える観光関連産業が景気を牽引するものの、全体としては力強さを欠き、卸売業を中心に幅広い業種で下降する見込みとなっている。続く7～9月期は▲1.1と一部の製造業を除き、引き続き軟調に推移する。また、2019年10月に実施される消費増税の影響を懸念するなど景気の先行きを不安視する声が多数寄せられた。

今期の自社業況 BSI 値は▲11.5(前期実績10.4)と大幅に落ち込み、前回予想値(▲5.0)を下回る結果となった。季節的要因から建設業の業況は上昇したものの、中国景気の減速の影響を受けたとみられる一部製造業などで BSI 値の下降が見られた。2019年4～6月期は▲1.6と下降幅は縮小する見込み。国内景気同様、観光関連産業が業況を牽引するものの、先行き不安により、上昇幅は伸び悩む。続く7～9月期は▲2.4と引き続き下降を予想する。受注・売上不振、人手不足、原材料価格の上昇に対する懸念から、先行きについては、慎重な見方が広がっている。

★国内景気動向の推移 (BSI 値)



★自社業況(総合判断)の推移 (BSI 値)



※自社業況(総合判断)は、「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

★B.S.I. 値の総括表

		実績		予想	
		2018年10～12月期	2019年1～3月期	2019年4～6月期	2019年7～9月期
京都企業の経営動向	国内景気動向	7.4	▲12.6	▲1.6	▲1.1
	自社業況(総合判断)	10.4	▲11.5	▲1.6	▲2.4
	1 生産・売上高、工事施工高	10.6	▲12.2	▲1.6	▲3.3
	2 製・商品・サービス・請負価格	5.3	▲1.2	2.7	0.0
	3 経常利益	6.0	▲13.5	▲3.6	▲6.6
	4 所定外労働時間	11.2	▲5.4	▲0.3	▲1.9
	5 製・商品在庫	4.4	6.7	5.1	4.9
6 資金繰り	▲0.5	▲3.4	0.8	▲1.5	

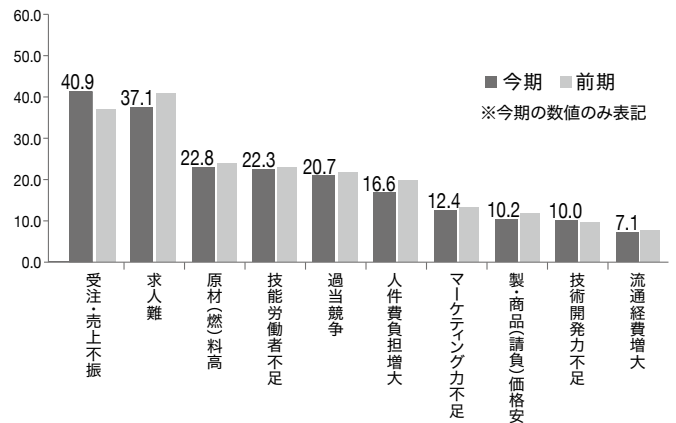
(注)1～3月期の BSI 値は、2019年4～6月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

※ B.S.I. 値=(上昇[増加、他]-下降[減少、他])×1/2

(注)2月初旬から2月中旬にかけて同調査を実施し、562社中421社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。

当面の経営上の問題点

第1位は「受注・売上不振」(40.9%)、第2位は「求人難」(37.1%)、第3位は「原材(燃)料高」(22.8%)、第4位は「技能労働者不足」(22.3%)、第5位は「過当競争」(20.7%)であった。7期ぶりに「受注・売上不振」が第1位の問題点として認識され、「求人難」は第2位と高い順位で推移している。



(19項目より3項目以内回答、回答企業数%)

ピックアップ調査結果のポイント

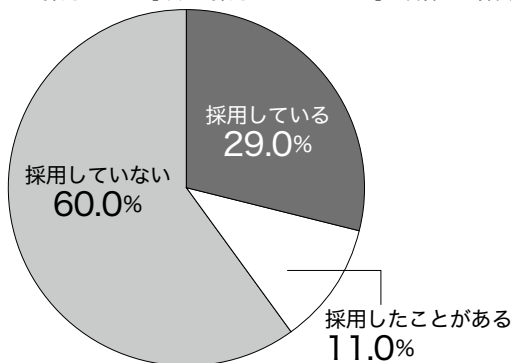
外国人の採用について

— 外国人の採用経験のある企業は約4割。今後の採用方針には、慎重な意見も —

◆外国人の採用状況

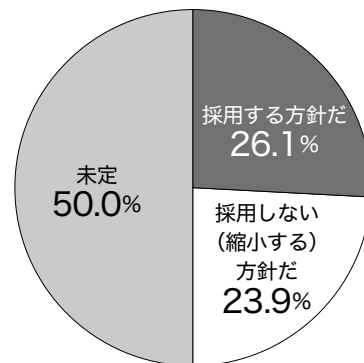
「採用している」と回答した企業の割合は29.0%、「採用したことがある」は11.0%と外国人の採用経験のある企業^{*}は約4割で、このうち約6割が大企業による採用であった。

^{*}「採用している」及び「採用したことがある」を合算して算出



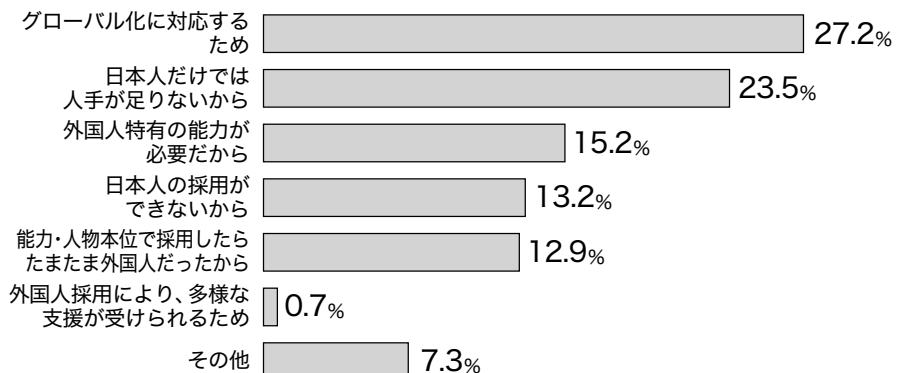
◆外国人採用の今後の方針

「採用する方針だ」と回答した企業の割合は26.1%、「採用しない(縮小する)方針だ」は23.9%、「未定」は50.0%であった。



◆外国人採用の理由

「グローバル化に対応するため」と回答した企業の割合は27.2%、「日本人だけでは人手が足りないから」は23.5%、「外国人特有の能力が必要だから」は15.2%であった。



お問合せ先

本所
中小企業支援部
TEL:075-341-9780

調査結果概要は、本所ホームページからダウンロードできます。

京都商工会議所 BSI 値

